MUSEUM NEWS

2018.4 ► 2018.5

モダンアート再訪　ダリ、ウォーホルから草間彌生まで 福岡市美術館コレクション展

とき・4/7(土)〜5/20(日)
ところ・2階展示室
内容・1979年に開館した福岡市美術館は、20世紀の国内外の美術を展望できる優れたコレクションを所蔵しています。この展覧会では、工事休館中の同館のコレクションから選りすぐった約70点を一堂に展示します。シュルレアリスムからポップ・アートにいたる欧米の美術動向や、戦後の日本で前衛的な活動を展開した九州派や具体美術協会などを紹介し、モダンアートを新たな視点から読み解きます。

観覧料・一般1000円(800円)、大高生800円(640円)
※( )内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションも御覧いただけます。

《関連イベント》
○ **レクチャー＆トーク「反芸術綺談〜九州派とその時代」**
とき・4/22(日)
[第一部]14:30〜15:00(14:00開場)
レクチャー・山口洋三(福岡市美術館学芸係長)
[第二部]15:15〜16:30
トーク・菊畑茂久馬(本展出品作家)× 山口洋三
ところ・2階講堂
内容・1950年代から60年代を駆け抜け、日本の戦後美術に足跡を残した前衛美術家集団「九州派」。伝説となったその活動を、福岡市美術館は30年以上にわたって調査、紹介してきました。1957年から62年まで九州派に所属し、現在も美術家として活躍を続ける菊畑茂久馬氏と、2015年に「九州派」展を担当した山口洋三氏に、九州派について語っていただきます。
定員・当日先着100名／**費用**・無料

菊畑茂久馬《ルーレット No.1》1964年　福岡市美術館蔵

○ **担当学芸員によるギャラリー・トーク**
とき・4/28(土)、5/12(土)、各日とも15:00〜15:30
ところ・2階展示室
内容・担当学芸員が展覧会の見どころをご紹介します。
費用・企画展観覧料が必要です。

【スライドトーク】ご希望のグループにスライドを使って見どころをご案内します(予約制)。お問い合わせ・ご予約は教育・広報担当(電話 048-824-0110)まで。

一般展示室(地階)

※日程・内容は変更される場合があります。最新の情報は各主催者へお問い合わせください。
※展示により開室時間(特に最終日の終了時刻)が異なります。

◆ 4/3(火)〜4/8(日)
2018“U展”(絵画、版画、彫刻)……一般展示室1・2
第27回渓水会展(日本画、水彩、油彩、書ほか)…… 一般展示室3
第12回彩ボタニカルアート展(水彩)……一般展示室4
◆ 4/10(火)〜4/15(日)
第14回群炎埼玉支部展(絵画、彫刻、工芸ほか)…… 一般展示室2
第35回自然写真の会“彩”写真展(写真)…… 一般展示室3
第9回五彩会展(油彩)…… 一般展示室4
◆ 4/17(火)〜4/22(日)
浦和写真クラブ作品展「自然と風土」(写真)……一般展示室2
阿佐見昭彦写真展≪記憶の欠片≫(写真)…… 一般展示室3
第10回彩画展(日本画、水彩、油彩)…… 一般展示室4
◆ 4/24(火)〜4/29(日)
第12回フォト・トルトゥーガ写真展(写真)……一般展示室2
祈りのかたち仏像彫刻展(彫刻)……一般展示室3
女流画家石田雪雅展(油彩、版画ほか)…… 一般展示室4
◆ 4/26(木)〜4/29(日)
第42回埼玉女流工芸展(工芸)……一般展示室1
◆ 5/1(火)〜5/6(日)
第22回埼玉二科展(絵画、彫刻、デザイン)……一般展示室1〜4
◆ 5/29(火)〜6/20(水)
第68回埼玉県美術展覧会(県展)(日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真)
…… 一般展示室1〜4ほか

MOMASコレクション(収蔵品展)

■2017年度 第4期
とき・1/6(土)〜4/15(日)
ところ・1階展示室
観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)
※( )内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。

◇ **セレクション：ルノワールとかピカソとか**
◇ **とう・かたる ー 人と美術の出会いの中で**
◇ **小特集：小村雪岱のイラストレーション**

※会期中の毎日14:00から30分程度、1階展示室で美術館サポーター(ガイド・ボランティア)による作品ガイドを開催しています。参加にはMOMASコレクション観覧料が必要です。

《関連イベント》
○**サンデー・トーク**
内容・学芸員が展示作品について展示室内で解説します。
費用・MOMASコレクション観覧料が必要です。
とき・4/8(日)15:00〜15:30
作品・小村雪岱のイラストレーション(コーナー全体を解説します)
学芸員・大越久子

小村雪岱《おせん》1941年頃(没後の摺り)

■2018年度 第1期
とき・4/21(土)〜7/8(日)
ところ・1階展示室
観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)
※( )内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。

◇ **セレクション：シャガールとかフジタとか**
人気の高いシャガールやレオナール・フジタの作品を中心に西洋・日本の近代絵画を紹介します。
◇ **さいきんのたまもの**
近年、新たに美術館のコレクションに仲間入りした作品をご紹介いたします。

※4月21日(土)、22日(日)を除く会期中の毎日14:00から30分程度、1階展示室で美術館サポーター(ガイド・ボランティア)による作品ガイドを開催しています。参加にはMOMASコレクション観覧料が必要です。

《関連イベント》
○**サンデー・トーク**
内容・学芸員が展示作品から1点を選んで展示室内で解説します。
費用・MOMASコレクション観覧料が必要です。
とき・5/13(日)15:00〜15:30
作品・吉野辰海《双頭犬》1987年
学芸員・平野到

吉野辰海《双頭犬》1987年

アート体感ワークショップ MOMASのとびら

とき・土曜日 13:30〜15:00
対象・幼児から大人まで
費用・『工房』は500円。その他無料。
申込方法・開催月の前月1日から申し込みを受け付けます。館内で配布する申込用紙によりFAXでお申し込みください。また、ホームページでも申込用紙のダウンロードや申し込み状況の確認ができます。

■4月
4/ 7(土) フリープログラム[どなたでも]※申込不要
4/ 14(土) わくわく鑑賞ツアー[どなたでも]※申込不要
開始時間：①13:30〜 ②14:00〜 ③14:30〜
4/ 21(土) アート★ビンゴ[どなたでも]※申込不要
4/ 28(土) みる＋つくる(企画展物語)[小・中学生]

■5/ 5(土) もますまつり[どなたでも] ※申込不要
午前の部：10:30〜12:30、午後の部：13:30〜15:30
大好評の「洗濯ばさみで絵を描こう！」などいくつかのフリープログラムを行います。内容は天候等で変更があります。
(´-`).。oO(午前中のどこかで特別ゲストによる新プログラム実施予定！)
5/ 19(土) 彫刻あらいぐま[小・中学生＋保護者]
5/ 26(土) 工房[小学生〜大人]

リターン・オブ・ザ・リアル 遠藤利克氏　毎日芸術賞受賞

昨年夏に当館で開催した企画展「遠藤利克展ー聖性の考古学」により、遠藤利克氏が「第59回毎日芸術賞」を受賞しました(美術Ⅰ部門)。展示の圧倒的なインパクトとそれに対する極めて高い評価、現代美術展としては破格の入場者数という結果に対する、客観的・社会的な指標とも言えます。この展覧会の成功は、全面的にご協力をいただきました遠藤利克氏をはじめとして、多大なご協力をいただきました画廊の皆様、作家の活動を長年支援されてきた関係者の皆様、そして主催・会場となった当館が、展覧会の実現に向けて総力を結集することができたからに違いありません。担当学芸員のコメントを紹介します。

「静謐な時間 ー 遠藤作品で埋め尽くされた美術館」

「ご受賞おめでとうございます。スケールの大きな遠藤氏の作品は、なかなかまとめて見ることができる機会がないので、作品の魅力を知っているひとは皆、大規模な個展の開催を首を長くして待っていたのだと思います。何より私が見たかったんです、遠藤作品で埋め尽くされた美術館を。その一心で企画したようなものです。館内でも『ハンパな展示じゃ、みんな納得しないよ』といわれたので、担当者としてはプレッシャーがありました。さまざまな意味で窮屈な美術館側の事情を汲んでいただきながら、会場にあわせた素晴らしい新作2点と息をのむような展示構成とで、展覧会に全力で応えてくださった遠藤利克氏に心から感謝いたします。ある日の閉館後、新作の《無題》の中心に、ひとり佇んだ静謐な時間が忘れられません。」(T.S.)

遠藤利克《無題》2017　展示風景　　撮影：加藤健

リターン・オブ・ザ・ミカロ

上述したことが「展覧会の本体」の充実をもたらしたとすると、その魅力を伝える努力としての「広報」についても触れておきたく思います。今回の入場者数を当事者の経験値に照らして分析すると、「遠藤利克という名前を知らなかった層」が来場してくださったことがわかります。そのことにつながったと分析しているのが、遠藤氏のインタビューです。CINRA.NETに掲載された同氏のインタビュー「美術家・遠藤利克が表現する、日本人が忘れていた芸術の本当の姿」では、極めて重要な内容が語られています(https://www.cinra.net/interview/201708-endotoshikatsu)。この記事に触れて初めて遠藤利克という芸術家を認識し、展覧会に足を運んでくださった方が、多くいらっしゃるはずです。また、雑誌『美術手帖』にも、2ヶ月連続で、1ページの広告を打ちました。作品図版に頼らず、文字の反転と鏡像化で攻めてみました。広告に掲載するコメントを館内で募集したところ、館長以下6名が熱い文章を寄せてくれました。これは、『ソカロ』のスピンオフ『ミカロ』と位置づけ、他媒体に寄生して刊行されたわけですが、毎日芸術賞受賞を記念して、本家『ソカロ』に帰還しました。これが、今号表面下段の、「リターン・オブ・ザ・ミカロ」というわけです。遠藤氏の圧巻の展示が呼び起こした『リターン・オブ・ザ・リアル』(ハル・フォスターの著書)にちなんでいます。(G.U.)

ミュージアム・ショップおすすめ商品

今回は、「アイロンビーズ」のご紹介をします。さし皿にご自分の好きな模様でビーズを並べ、上からアイロンをかけくっつけるだけでオリジナルプレートができます。細かい作業で手先が器用になり、集中力、創造力、色彩感覚も育ててくれる大人も夢中になれるおもちゃです。犬、猫、花の形のさし皿もご用意しています(K.K.)

アイロンビーズ　イルカ社
スウェーデン製　3,400円(税別)
プレート
犬300円、猫300円、花480円(各税別)

編集後記

今号では、思い切ってソカロイドをインタビュアーに抜擢してみましたが、不発でした。編集長として深くお詫びします。(G.U.)

公園の 水面に吹雪く早桜　離合知るのは 春疾風のみ
春は出会いと別れの季節。新しいこと、はじめるにはイイときです。(S.I.)

「はみだしソカロ」は、今号の特集の性格上お休みしました。が、まだまだ募集中です。ご応募は館内BOXかtwitter(# はみだしソカロ)まで！！

埼玉県立近代美術館
所在地・〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
TEL・048-824-0111 FAX・048-824-0119 URL・http://www.pref.spec.ed.jp/momas/
代表メール・p240111@pref.saitama.lg.jp
開館時間・10:00〜17:30(展示室への入場は17:00まで)
休館日・月曜日(4/30は開館)、5/22〜5/25　入館料・無料　観覧料・上記をご覧ください
交通・JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅まで、それぞれ約35分。
※当館に来館者専用の駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。
団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたしますが、台数に限りがありますので予めご了承ください。

発行・埼玉県立近代美術館　編集・教育・広報担当 梅津元・飯島俊　原稿執筆・(G.U.)梅津元 / (T.S.)渋谷拓 / (K.K.)川上佳代 / (S.I.)飯島俊　デザイン協力・埼玉大学 高須賀研究室

©埼玉県2005